

緑でつなぐ街づくり

～鳥を呼ぶ庭づくり、街づくり～

●環境（ECO）

省資源 3R （循環型社会） リデュース(減量)、リユース(再利用)、リサイクル(再資源化)
省エネ 温暖化防止（低炭素社会） へらす(省エネ)、つくる(創エネ)、ためる(蓄エネ)
自然調和 生物多様性（自然共生社会） 保全(自然保護)、利用(生物資源)、共存(自然共生)
『自然と共に、快適な暮らしをする』

●鳥を呼ぶには

野鳥が生活するには、昆虫やクモなどの小さな生物が必要です。そしてその小さな生物が生きるためには、たくさんの種類の植物が欠かせません。鳥を呼ぶ庭をつくることができれば、その土地土地に合った自然環境を自宅に作る事ができます。

鳥を呼ぶには **食料・安全・環境** が大切です。

食料

自然の餌

餌の種類 : 昆虫（幼虫・成虫）、クモ、ミミズ 等、花の蜜・実・種

給 餌 バードテーブル（バードフィーダー）、バードバス

餌の種類 : ご飯粒・パン、ヒエ・キビ、ナッツ・ヒマワリの種、リンゴ・ミカン・カキ
配合飼料、牛脂、バードケーキ（薄力粉 500g+砂糖 100g+ラード 250g）等

餌の場所 : 高さ 1m 以上、場所を変えない、見通しの良い所、物干から離す、自然な色

餌の供給 : 種類を多く、決まった時間、残さない量、続ける、最後は徐々に減らす

安全

ネコ対策 : 設置場所（高い位置に）、掃除（地面に落ちた餌）

ネズミ対策 : 設置場所（ネズミ返し）、掃除（餌台の食べ残し）

ドバト対策 : 設置場所（止まらない様に）、餌の種類（穀類・パンは避ける）、囲い。

カラス対策 : 設置場所（屋根をつける）、餌の種類（牛脂・パン・果物は避ける）、囲い

毎日、掃除をする

毎日、餌は取り替える

餌は冬 11月～4月下旬だけに

餌は依存性をつけない程度に

近所迷惑（糞・騒音等）に注意

自然の餌場となる環境をつくる

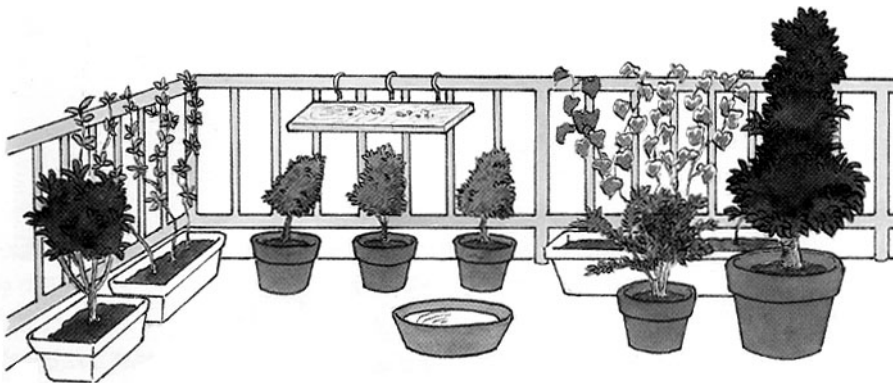
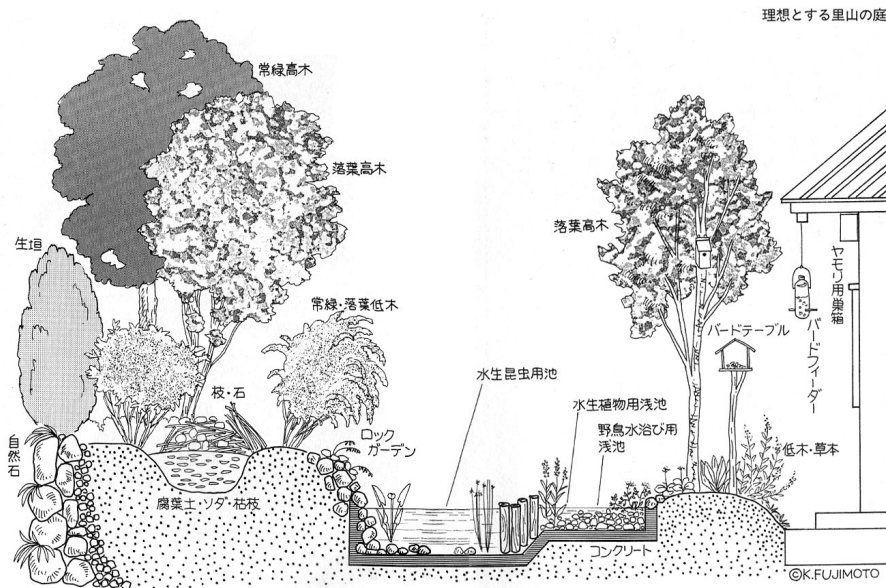
環境 環境要素をたくさんつくる

木：雑木「5本の樹」実のなる落葉広葉樹（里山の木）・常緑広葉樹（隠れ場所）、地域在来種

草：雑草（エノコログサ・メヒシバ・イヌビエ 等）ススキ・ヤマハギ 等、地域在来種

水：水浴び場・水飲み場（砂や細かい砂利を敷く・深さ1〜2cm位・水面を揺らす）、1年中

土：砂浴び場、黒土（昆虫・小動物、植物）、落葉・枯れ枝・石等を積む（生きものの住処）



●庭づくりから街づくり

あなたのつくった庭は小さくても、ご近所の誰かがはじめれば、そうした庭が点々と増えていき、やがて点がつながり線となっていきます。公共の緑化エリアである公園や学校、街路樹や花壇、そして工場や集合住宅の緑化も、里山の植物の木や草を植えていけば、結局は線が面となっていきます。これは決して「遠くにある理想」ではありません。空を飛ぶ鳥や昆虫から見れば、そうした里山の環境は、小さくともすぐに目につきます。

木も、鳥も、虫も

『緑でつなぐ街づくり』

街を里山 [SATOYAMA] に